

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 27 年 1 月 22 日 (2015.1.22)

【公開番号】特開 2012-246482 (P2012-246482A)

【公開日】平成 24 年 12 月 13 日 (2012.12.13)

【年通号数】公開・登録公報 2012-053

【出願番号】特願 2012-117445 (P2012-117445)

【国際特許分類】

C 0 8 L 83/06 (2006.01)

C 0 8 K 3/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 83/06

C 0 8 K 3/00

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 26 年 11 月 14 日 (2014.11.14)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

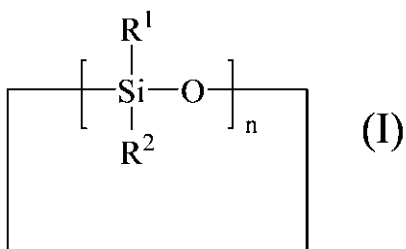
(A) $R^4_a (OR^5)_b (OH)_c SiO_{(4-a-b-c)/2}$ の平均組成式を有する第 1 ポリシロキサン、式中、 R^4 は 1 ~ 20 個の炭素原子を有する一価の基であり、 R^5 は 1 ~ 4 個の炭素原子を有する一価の基であり、 a 、 b 、および c は次の方程式を満たす： $0.8a + 1.5b + 0.3c = 0.001$ 、および $a + b + c < 2$ 、および

第 1 ポリシロキサンとは異なり、以下の式 (I) によって表される環状ポリシロキサンを含む第 2 ポリシロキサンであって、前記第 2 ポリシロキサンは、3000 未満の重量平均分子量を有する直鎖ポリシロキサンを含むことが選択できるポリシロキサン成分である第 2 ポリシロキサン、

式 (I) 中、 R^1 および R^2 は、独立して、水素、 $C_1 \sim C_4$ のアルキル基、フェニル基、ハロゲン原子、水酸基、 $C_1 \sim C_4$ のアルコキシ基、または $-X-Si(OR^3)_3$ 、 X は $C_1 \sim C_4$ のアルキレン、 R^3 は $C_1 \sim C_4$ のアルキルであり、

n は 3 ~ 6 の範囲の整数であるが、それは式 (I) における全ての繰り返し単位中の R^1 および R^2 の少なくとも 1 つが $-X-Si(OR^3)_3$ であり、その R^1 および R^2 が、式 (I) 中のいかなる繰り返し単位においても同時に $-X-Si(OR^3)_3$ とはなり得ないことを条件とする、

【化 1】



(B) 白色顔料、

(C) 白色顔料を除く無機充填剤、ならびに

(D) 縮合触媒

を含むポリシロキサン樹脂組成物。

【請求項 2】

(A) $R^4_a (OR^5)_b (OH)_c SiO_{(4-a-b-c)/2}$ の平均組成式を有する第 1 ポリシロキサン、式中、 R^4 は 1 ~ 20 個の炭素原子を有する一価の基であり、 R^5 は 1 ~ 4 個の炭素原子を有する一価の基であり、 a 、 b 、および c は次の方程式を満たす： $0.8 \leq a \leq 1.5$ ， $0 \leq b \leq 0.3$ ， $0.001 \leq c \leq 0.5$ ，および $0.801 \leq a + b + c < 2$ 、および

第 1 ポリシロキサンとは異なり、環状ポリシロキサンを含む第 2 ポリシロキサンであって、前記第 2 ポリシロキサンは、3000 未満の重量平均分子量を有する直鎖ポリシロキサンの含むことが選択できるポリシロキサン成分である第 2 ポリシロキサン、

(B) 白色顔料、

(C) 白色顔料を除く無機充填剤、ならびに

(D) 縮合触媒

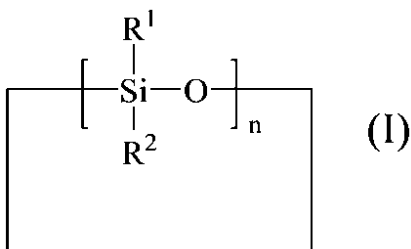
を含むポリシロキサン樹脂組成物であって、

100 重量部の前記第 1 ポリシロキサンに対して、前記環状ポリシロキサンは 2 ~ 50 重量部であり、前記環状ポリシロキサンは、以下の式 (I) によって表される環状ポリシロキサンであり、

式 (I) 中、 R^1 および R^2 は、独立して、水素、 $C_1 \sim C_4$ のアルキル基、フェニル基、ハロゲン原子、水酸基、 $C_1 \sim C_4$ のアルコキシ基、または $-X-Si(OR^3)_3$ 、 X は $C_1 \sim C_4$ のアルキレン、 R^3 は $C_1 \sim C_4$ のアルキルであり、

n は 3 ~ 6 の範囲の整数であるが、それは式 (I) における全ての繰り返し単位中の R^1 および R^2 の少なくとも 1 つが $-X-Si(OR^3)_3$ であり、その R^1 および R^2 が、式 (I) 中のいかなる繰り返し単位においても同時に $-X-Si(OR^3)_3$ とはなり得ないことを条件とする、

【化 1】



ポリシロキサン樹脂組成物。

【請求項 3】

請求項 2 に記載のポリシロキサン樹脂組成物であって、100 重量部の前記第 1 ポリシロキサンに対して、前記環状ポリシロキサンは 2 ~ 20 重量部であるポリシロキサン樹脂組成物。

【請求項 4】

請求項 1 に記載のポリシロキサン樹脂組成物であって、前記直鎖ポリシロキサンは $R^6 O Si R^7_2 O (Si R^7_2 O)_d Si R^7_2 O R^6$ によって表され、式中、 R^6 は水素または 1 ~ 4 個の炭素原子を有する一価の基であり、 R^7 は 1 ~ 20 個の炭素原子を有する一価の基であり、および d は 0 から 40 の範囲の整数であるポリシロキサン樹脂組成物。

【請求項 5】

(A) $R^4_a (OR^5)_b (OH)_c SiO_{(4-a-b-c)/2}$ の平均組成式を有する第 1 ポリシロキサン、式中、 R^4 は 1 ~ 20 個の炭素原子を有する一価の基であり、 R^5 は 1 ~ 4 個の炭素原子を有する一価の基であり、 a 、 b 、および c は次の方程式を満たす： $0.8 \leq a \leq 1.5$ ， $0 \leq b \leq 0.3$ ， $0.001 \leq c \leq 0.5$ ，および $0.801 \leq a + b + c < 2$ 、および

第 1 ポリシロキサンとは異なり、環状ポリシロキサンおよび 3 0 0 0 未満の重量平均分子量を有する直鎖ポリシロキサンを含む第 2 ポリシロキサン、

(B) 白色顔料、

(C) 白色顔料を除く無機充填剤、ならびに

(D) 縮合触媒

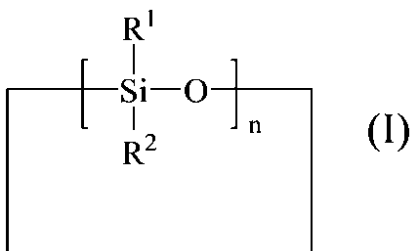
を含むポリシロキサン樹脂組成物であって、

1 0 0 重量部の前記第 1 ポリシロキサンに対して、前記環状ポリシロキサンは 1 ~ 3 0 重量部であり、前記環状ポリシロキサンは、以下の式 (I) によって表される環状ポリシロキサンであり、

式 (I) 中、 R^1 および R^2 は、独立して、水素、 $C_1 \sim C_4$ のアルキル基、フェニル基、ハロゲン原子、水酸基、 $C_1 \sim C_4$ のアルコキシ基、または $-X-Si(OR^3)_3$ 、 X は $C_1 - C_4$ のアルキレン、 R^3 は $C_1 - C_4$ のアルキルであり、

n は 3 ~ 6 の範囲の整数であるが、それは式 (I) における全ての繰り返し単位中の R^1 および R^2 の少なくとも 1 つが $-X-Si(OR^3)_3$ であり、その R^1 および R^2 が、式 (I) 中のいかなる繰り返し単位においても同時に $-X-Si(OR^3)_3$ とはなり得ないことを条件とする、

【化 1】



前記直鎖ポリシロキサンは 1 ~ 3 0 重量部であるポリシロキサン樹脂組成物。

【請求項 6】

請求項 5 に記載のポリシロキサン樹脂組成物であって、1 0 0 重量部の前記第 1 ポリシロキサンに対して、前記環状ポリシロキサンは 1 ~ 2 0 重量部であり、前記直鎖ポリシロキサンは 1 ~ 2 0 重量部であるポリシロキサン樹脂組成物。

【請求項 7】

請求項 1 のポリシロキサン樹脂組成物から作られる光電子デバイスのパッケージ。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 0 8

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 0 8】

ポリスチレン標準物を用いたゲル浸透クロマトグラフィー (GPC) 測定によると、オルガノシロキサン (A) は、5 0 0 ~ 2 0 , 0 0 0、好ましくは 1 , 0 0 0 ~ 1 0 , 0 0 0、およびより好ましくは 2 , 0 0 0 ~ 8 , 0 0 0 の範囲において重量平均分子量を有している。同様に、GPC によって決定される成分 (E) の平均分子量は、好ましくは 3 , 0 0 0 ~ 1 , 0 0 0 , 0 0 0、より好ましくは 1 0 , 0 0 0 ~ 1 0 0 , 0 0 0 である。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 1 1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 1 1】

本発明の一態様によれば、ポリシロキサン樹脂組成物は、

(A) $R^4_a (OR^5)_b (OH)_c SiO_{(4-a-b-c)/2}$ の平均組成式を有す

る第 1 ポリシロキサン、式中、 R^4 は 1 ～ 20 個の炭素原子を有する一価の基であり、 R^5 は水素または 1 ～ 4 個の炭素原子を有する一価の基であり、 a 、 b 、および c は次の方程式を満たす： $0.8 - a - 1.5b - 0.3c - 0.001c \leq 0.5$ 、および $0.801 - a + b + c < 2$ 、および

第 1 ポリシロキサンとは異なり、環状ポリシロキサン、3000 未満の重量平均分子量を有する直鎖ポリシロキサン、およびそれらの組み合わせから成る群より選択される第 2 ポリシロキサン、を含むポリシロキサン成分、

- (B) 白色顔料、
- (C) 無機充填剤、
- (D) 触媒

を含む。

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0033

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0033】

(A22) 直鎖ポリシロキサン

直鎖ポリシロキサンは 3000 未満の重量平均分子量を有し、 $R^6 O Si R^7_2 O (Si R^7_2 O)_d Si R^7_2 O R^6$ によって表される。式中、 R^6 は水素、または 1 ～ 4 個の炭素原子を有する一価の基であり、 R^7 は 1 ～ 20 個の炭素原子を有する一価の基であり、および d は 0 から 40 の範囲の整数である。